

やさまさき

高下自治会でふれあい喫茶

「ホタル」オープン

高下自治会では、7月26日(日)、ふれあい喫茶がオープンしました。

これは、5月に自治会役員や福祉委員、民生児童委員、老人クラブ役員が呼びかけ人となってボランティアを募集して始まったもので、6月には、20人余りのボランティアが集まり準備会が結成されました。

オープン当日は、乳幼児から90歳を超える高齢者まで70名余りが来店し、ビンゴゲームなどを楽しましました。



6月28日の準備会の様子。社協からは各自治会の取り組みや運営にあたっての留意点などを紹介しました。

社協は、このようなふれあい活動などの小地域福祉活動を推進し、この運営費を助成しているほか、ふれあい活動の連絡会を開催して地域の支え合いを応援しています。

(山崎支部 阿曾秀樹)



高下ふれあい喫茶は「ホタル」と名付けられました。



ビンゴゲームに盛り上がりました。

いのちのみや

「よう遊んでもらって若返ったで」

サロン交流会も今年で5年目



親子9組(21名)が千町に...今年度は一宮町内で交流会を3回計画しています

一宮支部では、小地域福祉活動と子育て支援事業を二つにした取組みとして「ふれあいサロン交流会」を実施しています。

7月27日(月)、上千町集会所において交流会行われ、一宮町内の子育て中のお母さんと子どもたちが千町を訪れました。

やすらぎを出発したマイクロバスは10時に集会場に到着。

まずは、自己紹介からはじまり、「名前は〜です」と自分で紹介できた子どもには大きな拍手が送られました。

会場では、大はしゃぎする子どもや子育ての相談をしているお母さん、子どもを抱っこするおばあさんの姿など、最初は緊張ぎみでしたが、時間とともに笑顔や会話が生まれ、楽しい時間もあったという間に過ぎました。

(本部・一宮支部 波多野好則)



今年も獅子舞が登場!



「コマはこうやってな…」



「何回見てもかわいいな。」



「ぼくボールちょうだい。」



「おちゃをどうぞ。」